

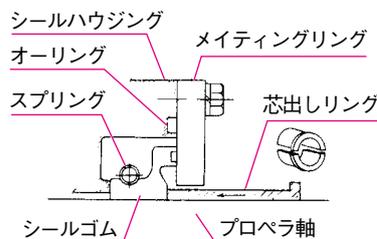
K型シールの取付要領

K型シールは端面シール方式となっていますので、取付に関しましてはエンジンの据付に十分注意をして下さい。特に機関台、トップライナー、船体の強度不足は、プロペラ軸がトモ、オモテ方向に動く原因となりシールの水漏や異常摩耗を起しますので、特に注意して取付をして下さい。

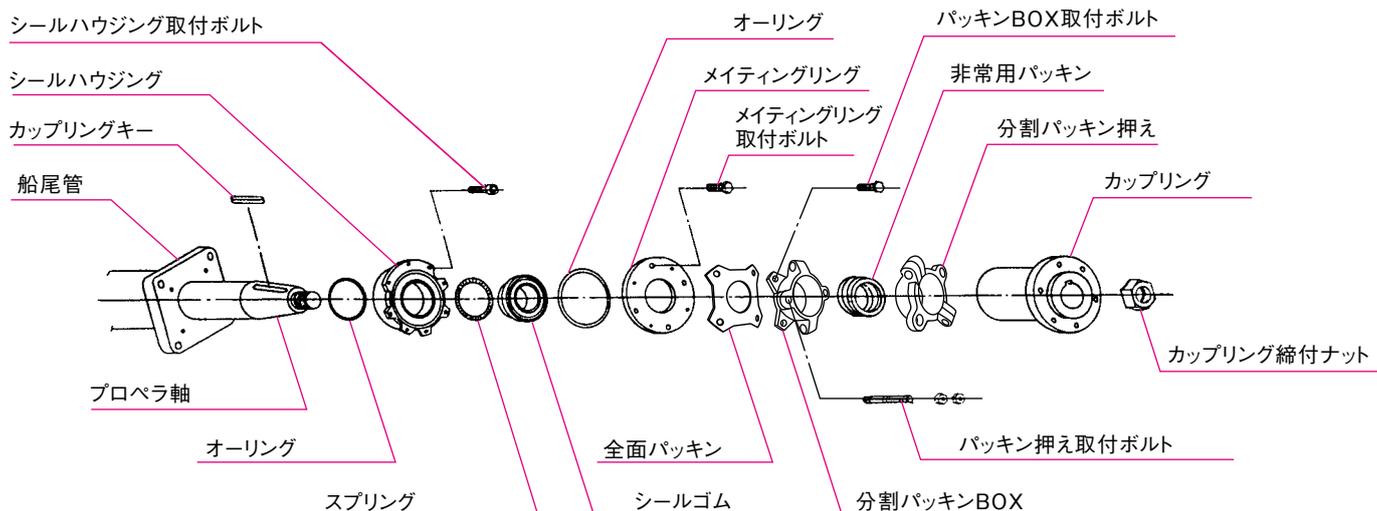
油使用禁止
油及びグリースは使用しないで下さい。

1. シールの取付要領

- ①船尾管及びシールハウジング内の清掃を完全に行ってください。
- ②プロペラ軸を挿入して下さい。
- ③各部品シールゴム、オーリング、メイティングリング、全面パッキン、パッキンBOX、パッキン押えの順序でプロペラ軸に入れて下さい。尚、シールゴムが変形している場合は80℃のお湯につけて復元して下さい。分割パッキンBOX及びパッキン押えは後でも組込み出来ます。
- ④プロペラ軸とカップリングをセットして、エンジンと芯を出し、据付を完了して下さい。
(この時プロペラ軸がトモ、オモテ方向に動かないことを確認して下さい。)
- ⑤シールゴムをシールハウジングの手前でスプリングとセットして下さい。この時シールゴムのツバの大きい方が手前にあるのを確認下さい。次にシールゴムのボス部を押して、シールハウジングに均一に当たるように押しつけて下さい。
- ⑥オーリングとメイティングリングを取付けて下さい。芯出しは外径がずれないように行って下さい。オーリングが外れやすい時はシリコンを少しつけると作業がしやすくなります。
- ⑦シールの給水部品を取付けて、配管を完了して下さい。
- ⑧シールゴムの芯を再度出して下さい。芯出しには2つ割りの芯出しリングを使用して、メイティングリングの内径のスキマより、トモ側へ円周方向に回しながら均一になるように押しつけて下さい。
- ⑨全面パッキンとパッキンBOXを取付けて下さい。芯出しは外径がずれないように行って下さい。
- ⑩非常用パッキンは同送のパッキンを3巻カットし、カット面が重さならないように入れた後、パッキン押えが動かないように固定して下さい。この時非常用パッキンは入れておく程度にして、パッキンを押えつけないで下さい。押えつけると発熱の原因となりますので非常時のみグランド方式で使用して下さい。
- ⑪シャフトアースは必ず取付けて電食を防いで下さい。
- ⑫浮芯にて再度芯出しされる場合は④の据付完了後に⑧へもどって再度行って下さい。



2. K型シール部品 (本図100φまで)(105φ以上は形状が違います)



K型シールの管理

シール装置の管理は海技免許等の資格がある方が行って下さい。

1. 使用時毎の点検

- ①水もれの点検は、毎回使用時に確認下さい。1日20ℓ程度までは使用出来ますが、**下船時には完全に水もれがないことを確認して下さい。**
- ②冷却水の送水は、使用時毎に確認下さい。確認方法はメイティングリングの温度が高くないか確認して下さい。目安温度は冷却水温度プラス20℃以下で最高50℃以下で使用して下さい。

2. 毎月の点検

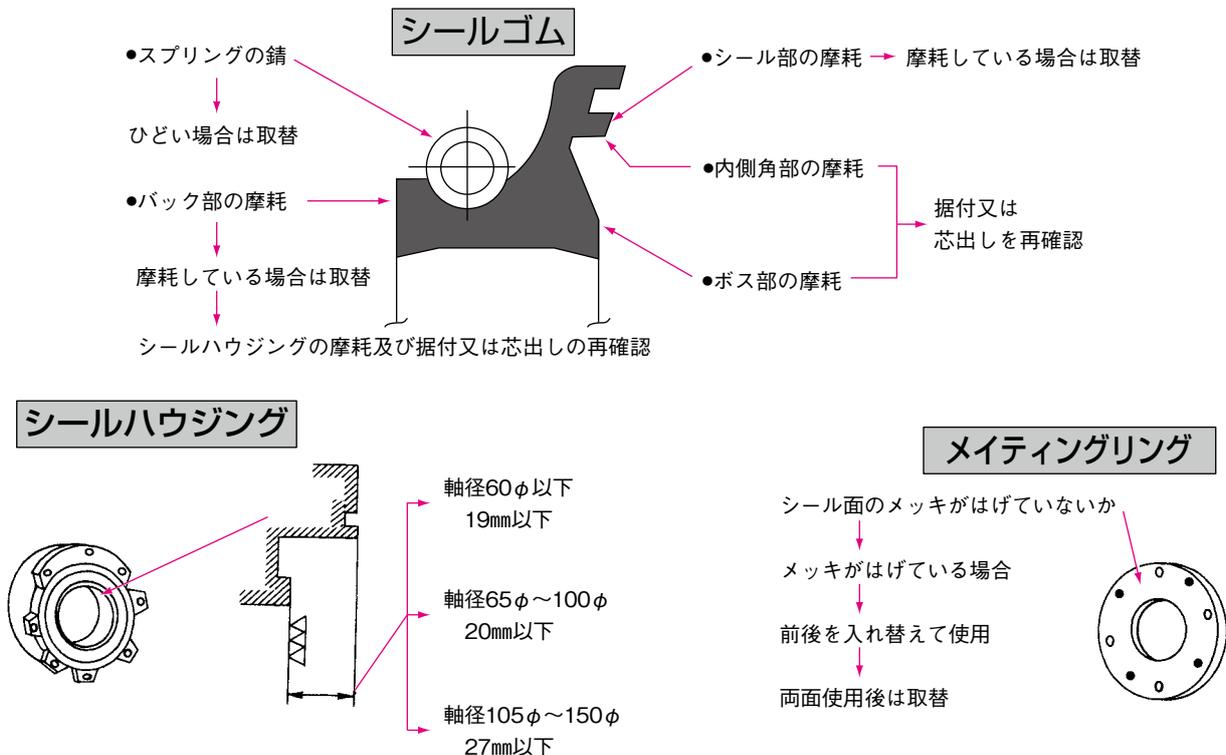
- ①シャフトアースの作動は月1回以上点検して下さい。

3. 毎年の点検

- ①シールゴム、スプリング、メイティングリング及びシールハウジングは年1回以上点検して下さい。下図のような異状がないか確認して下さい。

4. シール部品の交換

- ①シールゴムは、運航条件、海水の汚濁度、保守状況等により耐用年数は異なりますが、目安として2～4年と相定されます。又、スプリングはシールゴム交換時に取替えて下さい。
- ②メイティングリングは表面のメッキがはがれた物は使用しないで前後を入れ替えて使用して下さい。両面使用後は新品と交換して下さい。
- ③シールハウジングは、シールのバック受部が摩耗している物は取替えて下さい。
- ④オーリング類は、キズや変形がなければ使用出来ますが、各部品交換時の取替をおすすめします。



設計・製造・販売
河上船舶機器株式会社

〒812-0042 福岡市博多区豊2丁目3番61
TEL (092) 474-2722 FAX (092) 474-2728